

別添

第 32 回全国環境研究所交流シンポジウム

「多様化する地域の環境問題を知る・束ねる」

平成 29 年 2 月 16 日(木)～17 日(金)
於 国立環境研究所 大山記念ホール

2 月 16 日(木)

司会：青野 光子（国立環境研究所 企画部）

14:30～14:35 開会挨拶

国立環境研究所 理事長 住 明正

14:35～14:40 来賓挨拶

環境省総合環境政策局 環境研究技術室長 太田 志津子

セッション 1：外来種の侵入実態の把握と対策の現状

座長：五箇 公一（国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター）

(1)14:40～15:00 「国立環境研究所における外来生物対策研究」

○五箇 公一

（国立環境研究所）

(2)15:00～15:20 「京都府における外来種ミシシippアカミガメの定着と個体数の劇的な増加について」

○多田 哲子・坂 雅宏

（京都府保健環境研究所）

(3)15:20～15:40 「京都市伏見区におけるアルゼンチンアリの防除活動について」

○坂田 裕介¹・中嶋 智子¹・分銅 絵美²・片山 哲郎¹・福浦 祐介¹

（¹京都市保健環境研究所・²京都市伏見区アルゼンチンアリ根絶協議会）

(4)15:40～16:00 「福岡県侵略的外来種リスト(仮称)の作成と今後の課題」

○金子 洋平・中島 淳・石間 妙子・須田 隆一

（福岡県保健環境研究所）

16:00～16:15 （休憩）

セッション 2：都市域の環境問題の把握

座長：一ノ瀬 俊明（国立環境研究所 社会環境システム研究センター）

別添

- (1)16:15～16:35 「都市環境モニタリングから都市環境政策へ(都市大気・熱環境を例に)」
○一ノ瀬 俊明
(国立環境研究所)
- (2)16:35～16:55 「横浜市における暑熱環境把握及び対策に向けた調査研究」
○内藤 純一郎・関 浩二・松島 由佳・小倉 智代・石原 充也
(横浜市環境科学研究所)
- (3)16:55～17:15 「横浜市内の水環境における化学物質調査について」
○酒井 学¹・小市 佳延¹・多田 満²・小神野 豊²
(¹横浜市環境科学研究所・²国立環境研究所)
- (4)17:15～17:35 「千葉県都市域における放射性セシウム動態調査」
○市川 有二郎・中田 利明・行方 真優・飯村 晃・井上 智博
(千葉県環境研究センター)

17:35～17:50 総合討論

ファシリテーター：高橋 潔 (国立環境研究所 社会環境システム研究センター)

2月17日(金)

司会：青野 光子 (国立環境研究所 企画部)

セッション 3: 大気環境の現状と今後の対策

座長：高見 昭憲 (国立環境研究所 地域環境研究センター)

- (1)9:10～9:30 「大気汚染の現状とその削減の方向性について」
○高見 昭憲
(国立環境研究所)
- (2)9:30～9:50 「三重県における微小粒子状物質(PM_{2.5})について(2012～2015年度)」
○寺本 佳宏・阪本 晶子・西山 亨・佐藤 邦彦・岩崎 誠二・川合 行洋
(三重県保健環境研究所)
- (3)9:50～10:10 「WRF/CMAQにおける予報モデルの精度検証」
○堀江 洋佑・中坪 良平・平木 隆年
(ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター)
- (4)10:10～10:30 「神奈川県における化学輸送モデルを用いたPM_{2.5}の発生源寄与解析」
○小松 宏昭
(神奈川県環境科学センター)

10:30～10:45 (休憩)

別添

セッション 4: 水銀汚染の現状とこれから

座長: 河合 徹 (国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター)

(1)10:45~11:05 「湖水における貧酸素水塊の形成と水銀濃度の増加」

○武内 章記¹・大八木 英夫²・花町 優次¹

(¹国立環境研究所・²日本大学)

(2)11:05~11:25 「水銀に関する水俣条約の有効性評価に向けた全球多媒体モデルの構築」

○河合 徹・櫻井 健郎・鈴木 規之

(国立環境研究所)

(3)11:25~11:45 「廃棄物埋立地における水銀モニタリング」

○長森 正尚・長谷 隆仁・大塚 宜寿

(埼玉県環境科学国際センター)

11:45~12:00 総合討論

ファシリテーター: 高橋 潔 (国立環境研究所 社会環境システム研究センター)

12:00~12:10 閉会挨拶

国立環境研究所 理事 原澤 英夫